

6月定例議会の内容をわかりやすくお伝えします。

議会だより だいせん 65号



2021年7月29日発行
鳥取県大山町議会

<https://www.daisen.jp/gikai/>



修正案を可決	6
合併後初の全議員による一般質問 ...	11
議員討論会.....	26
特集 女性団体との意見交換会 ...	28

女性が輝くまちへ

にちよつと待った

補正予算を修正議決

4月の選挙で再選を果たした竹口大紀町長により、補正予算が提案された6月定例会は、6月11日から28日までの18日間の会期で開きました。

令和3年度一般会計補正予算では、コロナ対策関係予算や、少子化対策として給食費を無償にする学校給食補助事業など10億155万8千円の追加予算が提案されました。これに対し、小谷議員ほか3人から給食費補助金を半額補助にとどめる減額修正案が出され、採決の結果、原案賛成5人、修正案賛成10人で、修正案が可決しました。(関連4～8ページ)

その他の議案16件、諮問1件は原案どおり可決しました。このほか陳情6件を審議し、発議案3件も原案どおり可決しました。



スマート農業社会実装促進事業

持続可能な農業のため
省力化技術導入

1079万円



サイクルツーリズム推進事業

電動アシストマウンテンバイク
20台 購入費

800万円

6月
定例会

給食費無償化

補正予算の主な事業



ありがとう!
大山みんなで応援券
一人6千円分の商品券を配布
1億223万円



スクールバス更新事業
老朽化したスクールバスの更新
1027万円



ハンドル形電動車いす
購入補助金
免許証を自主返納した高齢者が対象
200万円

チェックします

6月定例会

議案の

質疑

討論

文字放送

【池田議員】文字放送専用端末導入とあるが対象となる放送は。 【総務課長】大山チャネルを予定している。

山香荘地下タンク

【吉原議員】令和4年7月8日までに、地下貯蔵タンクの流出防止措置とあるが、指定管理者との協議は。 【観光課長】指定管理者と協議して決めた。同日までにライニング工事をしないと違法となる。老朽化してきたので、今後のことも内部で検討する。

まちづくり交付金

【近藤議員】ふるさと納税を財源とした大山町まちづくり活性化交付金2100万円を、地域自主組織で分配すると、まちづくり大山が640万円、きらり光徳が16万円と格差が40倍となる。改善の見通しは。 【企画課長】どのような形がベストなのか、各自組織と協議している。令和3年度中には議論を進め、積み上げていく。

ナラ枯れ駆除

【野口議員】委託料が1200万円計上されているが、これで足りるか。現状は。 【農林水産課長】平成25年から被害が確認され、平成30年度に一旦は落ち着いたが、令和元年度は1263本であった被害木が、令和2年度には6700本と増えた。今後継続して対策をしていく。



ナラ枯れ防除トラップ

福祉のまちづくり

【西本議員】民間施設のバリアフリー化推進とあるが、施設は決まっているか。内容は。 【福祉介護課長】数カ所から要望があった。多目的トイレや、トイレの洋式化が主な整備事業で、県と町と事業者が3分の1ずつ負担する。要望はトイレの改修がメインであるがバリアフリー化や、エレベーターの設置なども対象である。上限額は事業内容により異なっている。



バリアフリー化されたトイレ

みんなで応援券

【大杖議員】コロナ対策の事業だが、前回と違うところは。

【企画課長】額面を10000円から5000円とし、1人60000円を全町民に配布する。

ロールスクリーン設置

【門脇議員】大山参道市場に設置だが、町が負担すべきなのか。

【観光課長】指定管理者と、その都度ごとに協議して決める。今回は町が負担する。



町のPRと西陽対策で整備



整備されるコース

マウンテンバイクコース

【森本議員】常設MTBコース造成の場所は。

【観光課長】大山国体広場近くの大山林間コースで、冬季はクロスカントリーコースで使用している。

【森本議員】EIMTBの購入の800万円の内訳と目的は。

【観光課長】電動アシスト付きのマウンテンバイクを20台購入し、海と山をつなぐレンタサイクルの実証実験をする計画だ。

学校給食費

【大森議員】児童・生徒の年間の給食費は。

【工藤も課長】1人あたりの単価を、小学校288円の200日で57600円。中学校338円の200日で67600円という計算をしている。

【大森議員】保育料など他にも軽減する事業もあるが、なぜ給食費の無償化なのか。

【町長】昨年度から本町では、小中学校の給食費を全額補助している。今年、小中学校の義務教育で1番お金がかかっているのが、給食費である。その負担を軽減して、さらに出生率を上げていきたい。



地元産品をふんだんに使った給食

一般会計補正予算に 修正動議を提出

提案者
小谷 英介
大杖 正彦
豊 哲也
島田 一恵

提案理由

〔小谷議員〕 今回の補正予算に、学校給食費を全額無償にするための補助金4962万円が計上されているが、予算が限られているなかで、いま、最優先にするべきことが疑問があり、これまでどおりの半額補助にとどまるべきと考え、本修正案を提出する。

町長からは、人口減少対策として、保護者の経済的負担を軽減すると説明があったが、現状半額補助をしているなかで、なぜ半額補助から全額にするのか、それによりどれだけの出生率が増えるのかという根拠が十分ではないと考える。

今回ふるさと納税による、ふるさと応援基金を財源に予算が組まれているが、無償化した場合、毎年約7000万円の財源が必要であり、事業の費用対効果は慎重に検討しなければならぬ。

〔森本議員〕 少子人口減少対策において、経済的負担の軽減が有効でない理由は、

〔小谷議員〕 経済的負担軽減の重要性については否定していない。ただし、保護者が一番気にしている大学の費用負担の軽減無しに、食

また令和2年度の本町外部行政評価委員会からも、給食費の全額補助はするべきではないとの意見も出されている。

以上のことから、これまでどおり半額補助に必要な1689万円の追加のみを認め、3272万円は減額する修正案とした。

質疑

〔西本議員〕 給食費を無償化することによって出生率が増えるかどうかかわらないので反対ということが。

〔森本議員〕 財源の基金についての考え方は、

〔小谷議員〕 いまなぜ給食費無償化を優先するのか、子育て教育環境の充実について、他に優先するべきことがないのか、説明や議論が不足している。

〔小谷議員〕 ふるさと納税の目的別寄附の用途のひとつが給食費と書いてあるだけなので、町の未来につながる施策を十分に検討するべきだ。

〔森本議員〕 他の提案者の提案理由も同じか。

〔豊議員〕 ふるさと納税の基金は、不安定な財源だと考える。

〔島田議員〕 半額補助を実施した後、保護者に話を聞いたか。皆さんと議論ができる時間があればと考え賛同した。

〔大杖議員〕 ふるさと納税された人の気持ちを考えて、教育面で質の向上をはかることが、将来の大山町のためになる。

○賛否が分かれた学校給食費補助金

原案 (賛成者5人)	修正案 (賛成者10人)
人口減少対策として給食費を無償化 49,620千円を追加	無償化は費用対効果に問題 半額補助にとどめる 16,894千円のみ追加
当初予算は17,305千円 (半額補助、半年分)	

原案に賛成

【森本議員】この給食費

完全無償化のみならず、3歳以上児の保育料無償化や、高校生の通学費半額補助といったさまざまな負担軽減策を、国や県に先がけて行うことにより、移住定住につながる。

【大原議員】竹口町長就任以来、合計特殊出生率は上がっているとのことだが、出生数は100人を切り、80人、81人、67人と下降線をたどっている。

このままいけば、10年と言わず、5年後には、中学校の統合の話まで出るのではないかと。米子市のベッドタウンとして、近隣の自治体に先がけて、給食費無償化のカードを切らざるを得ない。停滞している暇はない。

【岡田議員】全国で、小中学校給食費無償化を実施している自治体は76自治体で、早いところは、10年以上前から実施している。

参考までに、明石市などは、昨年10月から国の幼児教育・保育の無償化で浮いた財源で実施している。

GOTOトラベルと違い、一過性ではなく、子育て支援は継続して、将来に渡って効果を生み出すと考えている。

【門脇議員】コロナ禍にあって経済的に厳しい状況で生活されている皆さんに、社会情勢が上向きになるまでは、事業の継続が望ましい。

【近藤議員】近年ふるさと納税による、ふるさと応援基金は約2億円だ。その内の約

修正案に賛成

7000万円を毎年使うのはウエイトが高すぎるのではないかと。基金は決して恒久的ではない財源だ。

また他の使い道として、塾や習い事費用の助成や、学校スタッフの充実が質の高い教育を推進するなど、意見は多様にある。

町民の声を聞きながら、議論を深めるべきと考える。

【池田議員】令和2年度からの補助対象外となっている家庭もある。

今のこの修正案には入っていないので心配だ。本当の意味での、みんなが暮らしやすい大山町になるためには、もう少し話し合う時間が必要ではないか。

7000万円を毎年使うのはウエイトが高すぎるのではないかと。基金は決して恒久的ではない財源だ。

4・5月臨時会
6月定例会
提出議案

一目でわかる審議結果

○賛否の分かれた議案

○は賛成、×は反対あるいは保留、欠は欠席

議案	6月定例会													結果			
	議員名	小谷 英介	西本 憲人	豊 哲也	島田 一恵	森本 貴之	池田 幸恵	門脇 輝明	大原 広巳	大杖 正彦	大森 正治	杉谷 洋一	近藤 大介		吉原美智恵	岡田 聡	野口 俊明
令和3年度大山町一般会計補正予算(第3号)【修正案】	○	○	○	○	×	○	×	×	○	×	○	○	○	○	×	○	可決
令和3年度大山町一般会計補正予算(第3号)【修正部分を除く原案】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	修正可決
保育士の全面パート化につながる短時間勤務保育士の活用促進ではなく、保育所職員の配置基準改善、処遇向上のための必要な措置を求める意見書の提出を求める陳情書	×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	○	×	×	×	×	賛成5人 不採択

このほか、町選挙管理委員会委員(遠藤毅さん、小川勉さん、福永博昭さん、岡田栄さん)と補充員(佐山節雄さん、田中延明さん、池信博子さん、野坂友晴さん)が指名推せんされ当選しました。

◇全会一致で可決、承認、同意、採択した議案

4月臨時会……専決(4件)、人事案件(3件)

5月臨時会……補正予算(2件)

6月定例会……条例(2件)、協議(1件)、計画(3件)、損害賠償(1件)、補正予算(9件)、諮問(1件)、陳情(4件)、意見書(3件)

◇全会一致で不採択した議案

6月定例会……陳情(1件)

議案の議決は、米本隆記議長を除く15人で行います。

常任委員会の活動

総務 常任委員会

ありがとう大山応援券

Q コロナ支援の応援券の額面を500円券にしないか。

A 町民からの要望が多かったため、500円券にする。



少額でも使える応援券

企画課

未完済の貸付金

Q 住宅新築資金等貸付金事業の償還状況は。

A 令和2年に6件完済。交渉状況は分納中54人、交渉中10人、交渉困難・その他が23人で金額は約2億6000万円である。

税務課

年間利用が少ない遊休施設



旧庄内小学校北側校舎

6月15、16日の2日間、所管する各課から議案の説明を受け審査した。

また、7日には商工会との情報交換会、17日には町内の遊休施設や土地の現地視察、18日には、経済建設常任委員会と合同で大山恵みの里公社との情報交換会を行った。

公共施設管理計画

Q 個別計画にもとづいた今後の施設管理の見通しは。

A 令和3年度は旧庄内小学校の一部、令和4年度は旧光徳小学校の解体を予定している。

財務課

特定空き家の認定

Q 特定空き家認定の対象は母屋のみか。

A 法律上は小屋や倉庫なども対象だが、周りへの影響も考えて認定する。

総務課

デマンドバス

Q デマンドバスの目的地で利用が多いのは。

A 分析の結果によると、買い物・病院が全体利用の8割をしめる。

企画課

大山町議会では、常任委員会で議案や事務・事業などを分担し、より詳細な審査を行っています。

教育民生 常任委員会

GIGAスクール

◎取り組みの現状は。

▲名和小・中学校では、授業中に京都の動物園とオンラインでつないで学ぶなど、先進的な取り組みが進んでいる。

幼児・学校教育課

検診率向上

◎検診率が上がらない原因は。

▲他の自治体の事例をみると、保健推進委員と地域との協働が大切だ。引き続き、具体的な方法を検討していきたい。

健康対策課

オンライン化

◎図書館・公民館をオンライン化する目的は。

▲職員が遠隔でも研修を受けられるように、テレビ会議システムなどを利用することを目的としている。今後はサークル活動などでも利用できるようにしていく。

社会教育課

ふれあい会館を視察



老朽化が目立つふれあい会館（名和）

6月15、16、17日の3日間、所管する各課から議案の説明を受け審査した。18日には、ふれあい会館の雨漏りや壁紙修繕箇所などの視察をした。

また、近年未使用となっている名和診療所の医師住宅を視察し、今後の活用方法などについて意見交換した。

ファミリーサポート

◎利用状況は。

▲令和2年度は、送迎や預かりなどの利用があった。今後の更なる利用促進のため、短時間利用など用途も幅広いことの、周知拡大に努める。

こども課

キャッシュレス決済

◎窓口キャッシュレス決済導入の内容は。

▲利便性向上や感染症対策のため、本年度8月より試験的に導入する。手数料の安さなどからPayPayを導入予定だ。

住民課

男女共同参画プラン

◎取り組みの現状は。

▲町民への意識調査のアンケート回収率が、前回比で約10ポイント増加した。テーマへの関心が高まっている。アンケート結果をもとに、第4次プランを策定していく。

福祉介護課

経済建設 常任委員会

除雪ドーザ

◎新規購入の除雪ドーザの使用地区と、今後の購入計画は。

▲中山地区で使用する。排ガス規制により令和4年度から2t級の3台を更新予定である。

建設課

設置工事

◎参道市場のロールスクリーン設置工事に関して、本町が負担する理由は。

▲町の施設のため、本町が負担する。

観光課

ストックマネジメント

◎ストックマネジメントの現状は。

▲施設全体を監視し、状態の悪いところから順次補修を行うことでコスト縮減、平準化をはかっていく。今回の補正予算では、電子データ化を行う。

水道課

補修計画などを確認



水道管破損の修理状況を視察（香取）

6月15、16、17日の3日間、所管する各課から議案の説明を受け審査した。

香取の水道管の現地視察や、ふるさとフォーラムなかやまと、名和公園の遊具の破損状況など現地視察した。

18日には大山恵みの里公社、大山寺の若手経営者の声をそれぞれ聞き取りした。

遊具の更新

◎ふるさとフォーラムなかやまの遊具更新の必要性は。町民の声はひろえているか。

▲設置から24年経過し、細かい修繕を繰り返しながらどうにか使ってもらっている。今後審査委員会を開き、町民の声をきいていく。



新しい遊具に更新

地籍調査課

お魚センター

◎施設の増築は必要か。

▲店舗内が狭く人と人とのすれ違いがむずかしい状況である。ウイルス感染予防対策として、増築は必要と判断している。

農林水産課

15人が町長・教育長・選挙管理委員長に一般質問を行いました。

あなたの声を町政に

◆一般質問とは

議員の日常活動と調査研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますので、臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしております。

ページ	質 問 事 項	質問議員
12	1. 高齢者が心豊かに過ごせる町にするには 2. 若者に魅力ある定住施策は	杉谷 洋一
13	1. 関係人口増への取り組みは 2. 高齢者への配慮施策は	吉原 美智恵
14	1. 人口減少対策について 2. 将来を見据えた子育て・教育環境の充実と生涯学習について	森本 貴之
15	1. 竹口町長 2 期目の方針を問う 2. 空き家問題	大杖 正彦
16	1. 空き家対策に関して町民等との連携 2. 大山口駅前の俯瞰的な町の計画は	豊 哲也
17	1. 企業誘致について 2. 急速に進展するデジタル社会への対応について	門脇 輝明
18	1. 町のビジョンや戦略が軽視されていないか 2. 町として、今後、どのような転入者を積極的に呼ぶのか	小谷 英介
19	1. 学校教育の現状と課題 2. 学校給食費の無償化について 3. 硝酸態窒素による水質汚染について	近藤 大介
20	1. 防災対策について 2. 特産農産物の振興について	大原 広巳
21	1. 住民参画はどこにいったのか 2. コロナ支援を住民目線で	西本 憲人
22	1. コロナ対策はさらに万全を 2. 町議選の投票率を上げるために 3. 補聴器の購入に助成を 4. 西部広域ごみ処理「基本構想(案)」を再び問う	大森 正治
23	1. 所信表明を問う 2. 認知症対策に注力を	岡田 聰
24	1. 梨の被害と対策について	池田 幸恵
	1. イメージを下げる町づくりについて	野口 俊明
25	1. 働き世代の体力向上について	島田 一恵

一
般
質
問
席

議事録は、議会事務局や議会ホームページで閲覧できます。



杉谷 洋一 議員

高齢者が心豊かに 過ごせる町とは

町長

ニーズに応じた取り組みが必要だ



輪投げを楽しむ高齢者

【杉谷】高齢者が健康で楽しく過ごすための食生活調査は。

【町長】調査は行っていません。

【杉谷】高齢者を対象とした役場の保健師や栄養士による、健康・食生活改善の集落巡回座談会は。

【町長】要望がある集落に出かけ、健康教育・食生活改善などの講習を実施予定である。

【杉谷】子育て施策と高齢者施策のバランスをどう考えているか。

【町長】施策のバランスをとることが必要と考えている。

また、行政が高齢者世帯に向いていく支援策を充実させる。

【杉谷】高齢者が安心して暮らすための診療所の充実は。

【町長】今後、高齢化が進み訪問診療などがますます必要になる。

また、地域のニーズに応じた取り組みが必要となる。

関係者と連携しながら進める。

若者に魅力ある

定住施策は

暮らしやすい

地域づくりを推進する

町長

【杉谷】本町には豊かな自然環境など多くの宝がある。若者定住につながる環境整備は。

【町長】官民連携による、賃貸住宅建設の取り組みを進めている。

【杉谷】若者参加型の施策の取り組みは。

【町長】子どもと楽しいまちプロジェクトに取り組む。子どもから高齢者まで、誰もが暮らしやすい地域づくりに努める。

【杉谷】企業誘致による雇用創出は。

【町長】雇用創出のため、さまざまな分野の企業に対し営業活動を進めていく。



便利で生活しやすい分譲団地

【杉谷】子育て環境の整備と特色ある学校づくりは。

【教育長】令和4年度

から始めるコミュニティ・スクールを充実させ、地域づくりを推進する。



吉原 美智恵 議員

関係人口増への取り組みは

町長 ワークーションを進める



荒れた景観への対策を

【吉原】関係人口とは移住者でもなく、観光だけの人でもない、地域の人々と多様に関わる移住のきっかけとなる人たちである。

新型コロナウイルスの影響で地方の価値が高まっているのがチャンスであるが今後の展開は。

【町長】東京の「ワークデザインラボ」と連携協定を結んだ。滞在しながら課題解決や地域の人のつながりを深める活動をしてもらう。

休暇先でテレワークをするワークーションで関係人口増へつながっていく。

【吉原】本町は自然と食に恵まれているが、景観も大切である。荒れた里山や空き家はイメージダウンになる。

林業も国産材の価格が上がリ、森林整備の重要性も増している。景観に対する施策は。

【町長】どちらの問題も課題として取り組んでいく。

高齢者への配慮施策は

町長

多様な支援を検討する

【吉原】世の中は、いよいよ5Gという高速なモバイル通信へと向かい、携帯電話にやっ

と慣れた高齢者が、有無を言わずスマートフォンの移行させられる。

町内には公衆電話はほとんど無く、外出時には、携帯電話は手放せない状況にある。

スマートフォン購入については、店頭での説明不足や使用方法の不安などの困難が予想される。

購入や使用方法についての行政支援は。

【町長】各携帯会社や教育委員会と連携して支援を検討する。

【吉原】運転免許返納にともなう更なる支援策は。

【町長】免許返納者には、電動車イスの購入補助を予定している。

【吉原】スマートフォンは、独居や高齢者世

帯にとって深刻な問題である。また、免許返納者の要望には、電動アシスト自転車もあるのではないかと。【町長】多様な支援を検討する。



電動アシスト三輪車もある



森本 貴之 議員

大山支所芝生広場の整備を

ベンチは 設置に向け調整する

町長



施設の有効活用を

【森本】子どもからご年配の人まで、みんなが暮らしやすいまちづくりの推進は重要である。

大山支所南側の芝生広場にベンチや遊具の設置など、幅広い世代の集いの場としての整備を検討しないか。

【町長】ベンチ設置に向けて調整したい。遊具の設置は、今後検討する。

【森本】公共施設官民連携事業でのアドバイザー委託の現状と展開は。

【町長】職員向け勉強会や事業計画検討アドバ

イスなど実施し、並行して、事業者・住民アンケートの結果を取りまとめている。

今後は、データをもとに、官民連携の住宅建設を進める。

【森本】防災力強化において、外部団体や企業との連携の現状と課題は。

【町長】本町は災害時における協定を、国・県・県内外の自治体や企業などの団体と、29の協定を締結している。課題としては、物流や食料の確保などの分野の新たな締結が必要だ。

リカレント教育とは どうあるべきか

教育長

知識を増やす 学び直しは重要である



新たな支援体制が進む図書館

【森本】本町を次世代へつなげるために多様化する社会に求められる人材育成など、多くの取り組みが必要である。

ジェンダー平等や女性活躍、男性の家事育児割合を高めるための具体施策と課題は。

【町長】新たな具体策は担当課や関係者などと協議して進める。性別や年齢に関わらず、誰もが意思決定の場に参画できる環境と意識づくりが重要だ。

【森本】本町において、リカレント教育はどうあるべきだと考えるか。

【教育長】近年、社会の複雑化・多様化が進み、Aの発展で仕事のあり方も変わる。そのなかで、就労してからも仕事に関わる知識を増やし、学び直しのリカレント教育は重要になってくる。

【森本】どのような視点で図書館機能強化を進めるか。

【教育長】検討と見直しを重ねながら、レファレンス機能を高めることで支援体制を整えていく。



大杖 正彦 議員

楽しさ自給率の 高い町とは

町長

誰もが暮らしやすい町である

〔大杖〕 町長は所信表明で、人口減少対策を訴え、令和2年度は本町の人口社会増を大きな成果とし、政策5本柱で暮らしやすい町を示している。

本町の未来ビジョンは。

〔町長〕 所信表明で述べた政策5本柱をもとに、子どもから年配の人まで誰もが暮らしやすい町づくりを進め、楽しさ自給率の高いまちをめざす。



集客を増やしたい大山参道

〔大杖〕 第一次産業について本町の基幹産業である観光業では、ウインターに頼らない通年の対策を考えると答弁したが、具体的な施策は。

〔町長〕 オールシーズンの観光地として、アウトドアフィールドの大山の磨き上げをはかり、山側だけでなく海側の観光資源を作り込み、町内周遊できる環境整備に取り組む。

危険な

「特定空き家」の対応は

町長

特別措置法にもとづき進める

〔大杖〕 報道で、本町の空き家率改善が全国一の自治体と紹介されたが、現実には住民から苦情などの問題がある。

町長の認識は。

〔町長〕 本町が空き家バンクの運営・移住相談窓口を外部に設置し、空き家対策事業に加え、人口減少対策がかみ合い、移住定住が促進され相乗効果が得られたと認識している。

〔大杖〕 周辺住民から苦情のある崩壊・不審者侵入・火災の心配がある危険な特定空き家の解決策は。

〔町長〕 特定空き家については、特定に拘らず所有者へ改善の助言や文書の送付、空き家等対策協議会で専門識者や県関係部署から助言で特別措置法にもと

づき、問題解決の手続きを進めている。

解決策として、早急に所有者へ改善依頼を行う。除却費用の助成制度もあるので利用してもらいたい。



危険な空き家の除却が求められる (写真はイメージです)



豊 哲也 議員

空き家対策で 町民との連携は

奨励金で掘り起こしを 進めている

町長



空き家をリフォームした家

【豊】 空き家の掘り起こし、空き家の家財の整理などに関して、自治会・地域自主組織との連携の現状は。

【町長】 本町空き家登録奨励金を交付することで掘り起こしを進めている。

空き家の家財整理については移住定住助成金で処分費を助成対象としている。

【豊】 具体的な数字は。

【町長】 令和2年度助成金の利用が3件、奨励金は近年0件である。

【豊】 ガイドブックな

どを活用し、空き家法について町民に周知しているか。

【町長】 町報の特集などで周知する予定である。

【豊】 不動産業者やリフォーム業者など、民間企業と連携して成果を上げている事例がある。

本町での取り組みは。

【町長】 本町の空き家情報を民間不動産業者も重複登録でき、成果をあげられる場合もある。リフォーム事業者との連携は今後検討する。

大山口駅周辺の

俯瞰的な計画は

町長

新規道路・公園の計画はない

【豊】 町民に夢のある住環境を提供することと、土地の資産運用の観点から、計画的なまちづくりが必要と考える。

特に大山口駅周辺は新興住宅地が増えているが、道路・公園整備などの長期的な計画は。

【町長】 新規の道路や公園の建設予定はない。

【豊】 大山口駅、役場大山支所、インターチェンジから300m以内は第3種農地となり、比較的他の用途へ使いやすい土地となるが、そうした土地を持つ人との連携は。

【町長】 事業に応じて



発展が見込まれる駅周辺

その都度、土地の所有者と連携を取っていく。

【豊】 公共空間デザインへのビジョンは。

【町長】 具体的な計画はないが、施設が集まっている環境を生かして住みやすいエリア

になるよう磨きをかけていきたい。

【豊】 道路など、長期的な計画がないと町がつぎはぎになる恐れがあると考えるが。

【町長】 その都度の対応になる。



門脇 輝明 議員

企業誘致の用地開発は

町長 検討を進めている

【門脇】最大の課題は人口減少だ。この課題を克服するためには若者が働く場所が必要だ。積極的に企業誘致に取り組んでいるのか。

【町長】新たな雇用創出や産業発展のため、推進していきたい。

町民や周辺住民が就職したいと思ってもらえる企業を中心に、誘致を進める。

【門脇】高田工業団地が完売となった今、企業を誘致するための用地開発の新たな計画は。



用地が完売した高田工業団地

また、大山ICC工業団地の活用は。

【町長】大山ICC工業団地には新たな企業誘致はしないこととしているが、高田工業団地周辺で用地確保ができないか検討を進めている。

【門脇】いつ頃の用地整備を目指しているのか。

【町長】可能な限り早く。可能性を検討したいが、周辺への影響なども考慮して、慎重かつ迅速に進めていきたい。

地域デジタル化の 基本構想や計画は

町長 策定していない

【門脇】国はデジタル庁を中心に先進的な政策を打ち出してくることが想定される。

地域デジタル化について、基本的な構想や計画の策定は。

【町長】基本構想や計画は策定していない。

これまで以上に地域の情報化が求められると予想されるので、遅れないように、県などと連携して取り組む。

【門脇】高速インターネット接続に対する補助制度を検討できないか。

【町長】すでに必要な補助を実施している。

【門脇】令和2年のア

ンケートで、家庭でインターネットが使用できない児童生徒は、全家庭の約1割となっている。

教育環境を保障するという意味で補助の検

討は。

【教育長】自宅に持ち帰りタブレットを使うようであれば、ルーターを貸し出すなど学習の格差がない状況にしたい。



タブレットにより議会もデジタル化



小谷 英介 議員

本町の戦略が 軽視されていないか

職員も納得の 総合的な戦略をつくる

町長



「攻めの戦略」町民への浸透度は

〔小谷〕本町の総合戦略（大山町しごと・ひと・くらし創生総合戦略）とくらし創生総合戦略の重要性をどう考えているか。
〔町長〕攻めの計画と認識している。
〔小谷〕内容をみると「移住者を増やすために、家庭のごみの処分量を減らす」など、おかしなものになっている。
〔町長〕過去に作成された計画にひきずられているため、無理のあるつくりになっている。

〔小谷〕各取り組みの背景や具体的な施策の記述がなく、戦略にリアリティが感じられない。
町民や職員が納得して、目標達成へ動ける戦略に計画しなおすべきではないか。
〔町長〕地方創生の総合戦略にこだわらず、別途つくりたい。現在、各課ごとに戦略をつくっているところなので、それを総合的な戦略としてまとめることで、役場の機能をしっかり動かしていきたい。

どんな転入者を 積極的に呼ぶのか

希望する人を 幅広く受け入れる

町長

〔小谷〕町として住宅の確保にかけられる予算も限られるなかで、本町への移住希望の問い合わせがかなり増えてきている。
今後、町として、どのような転入者を積極的に呼ぶのか。

〔町長〕特定の人に絞りに込んだ施策をする、それ以外の人が必要とされていないというメッセージになる。そういうことはしない。

〔町長〕特定の人に絞って移住を推進する考えではなく、希望する人を幅広く受け入れる。
〔小谷〕特定の人を排除する必要はないが、町の将来ビジョンに欠かせない人、例えば一次産業従事者を積極的に呼び込むための住宅を整備することは考えられないか。

〔小谷〕もしそうであれば、町長の所信表明などで、Uターンの促進という表現があるが、Iターンの人にも配慮するべきではないか。
〔町長〕Uターンという表現を使っているがUターンしか積極的に誘致をしないという考えではない。



Uターン：大山町内で育った人が、一度町外へでてから戻ってくること
Iターン：町外出身の人が大山町に移住してくること



近藤 大介 議員

学校教育の課題は

教育長

マンパワーが不足している

【近藤】本町の学校教育について、教育環境の優れている点、不足している点は。

【教育長】本町は、日本海から大高山山頂までの豊かな自然や、歴史的・伝統的な文化財が多くあり、その資源を活用し、ふるさとを愛する子ども達を育てることができる。

一方で、「多様な学びの場」の整備や、適切な就学指導の重要性が言われ、一人一人の特性に応じたきめ細やかな支援が求められているなかで、マンパワーが不足していると感じる。

【近藤】課題解決のために、どのような取り組みをされているか。

【教育長】今年度は学習支援員の増員やICT学習支援員の新設などに取り組んでいる。

今後も、各学校のニーズに合わせて適切な人員配置に努めたい。

無償化が少子化対策になる根拠は

町長

子育ての経済的負担軽減が重要だ

【近藤】学校給食費を無償化することが、人口減少対策となる根拠は。

【町長】子育ての経済的負担と出生率に相関関係が見られること、希望出生数と実際の出生数の差が生じる大きな要因として、子育ての経済的負担があげら

れることである。

【近藤】ふるさと納税を財源にしているが、制度がなくなった場合でも無償化を継続できるか。

【町長】ふるさと納税制度の有無にかかわらず、当面は無償化を継続していきたい。



無償化で子どもは増えるか...

水質汚染の対策は

町長

各機関と連携し協力する

【近藤】光徳地区において、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素による、地下水の水質汚染が確認されている。

町行政として、どのように把握し、どう対応しているか。

【町長】事業所の井戸水から、基準を超える硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素が検出されたことは承知しているが、汚染源の特定はできていない。

【近藤】原因究明や対策に、町も主体的に関わるべきでは。

【町長】各機関と連携し協力していきたい。



豊かな水の恵みを未来に残すため



大原 広巳 議員

コロナ禍での避難所は

町長

避難時の感染予防につとめる



一時避難所として活用したい

〔大原〕令和3年5月20日に施行された改正災害基本法で、避難情報の発令基準が一本化された。

今後の対応は。

〔町長〕レベル4での避難勧告を廃止し、避難指示に統一された。

レベル3でも、高齢者等避難と変わった。

わかりやすくなったが、空振りをおそれず、早めの行動を促したい。また広報だいせんや、町のHPでも周知につとめていく。

〔大原〕コロナ禍での避難所対応は。

〔町長〕発熱者や濃厚接触者が出た場合、他の避難者と隔離する部屋が必要となる。

保健師や運営職員などのスタッフも、しっかり確保する。

〔大原〕防災訓練や講習会の予定は。

〔町長〕感染状況を見ながら、コロナ対策を想定した避難所運営訓練を実施する。人数を限定した講習会も検討する。

少量でも特産化できないか

町長

公社などと連携強化する

〔大原〕スイートコーンの作付けが増えている。ブロッコリー、白ネギ、梨、和牛などに次ぐ新たな特産となりつつある。

町の支援は十分か。

〔町長〕令和2年度産は面積11・9ha、出荷量102・5tとなっている。

主な支援として、新規栽培者に栽培管理表や作付結果による記帳助成をしている。

今後は、農協スイートコーン部会と連携して、産地拡大をめざす。

〔大原〕本町には、まだまだ少量多品目農産物が多い。一品でも多く、



産地化に期待がかかる

次世代に残して行きたいが対応は。

〔町長〕大山恵みの里公社の生産部会などと連携しながら振興したい。

〔大原〕後継者の高齢化など、農家が減少しているが、今後の対応は。

〔町長〕コロナ禍ではあるが、農協や普及所などさらなる連携強化や、農業振興、後継者育成につとめていく。



西本 憲人 議員

住民の声を きく気はあるのか しっかりきいて 向き合っていく

町長

しっかりきいて
向き合っていく



楽しさ自給率を高める為に

〔西本〕 未来づくり10年プラン（総合計画）作成に関わったメンバーに1人も声がかからず、計画の見直しが始まっているのはなぜか。

〔町長〕 意見交換を行う予定だったが、コロナ禍なのでアンケートで意見をうかがった。

〔西本〕 10〜70代までの約70人が、300時間以上かけて話し合い作成したが、アンケートだけで済ませるといふことか。

〔町長〕 現状に合わせて軽微な修正なので審

議会で決める。

〔西本〕 まちづくり会長時代もいくどとなく話してきたが、話を聞いてもらえなかった。住民からも話しを聞いてもらえないとよく聞く。

どれだけ良い政策をしても住民と向き合わなければ意味がない。

〔町長〕 聞いているつもりだが、人によってそう感じる人もいると思う。

指摘をもとに、今後も町民の皆さんに向き合っていきたい。

コロナ対策支援を 住民目線で

町長

現状確認して検討していく

〔西本〕 コロナ対策支援の給付金・補助金の情報が届いてない人や、webでしか手続きができずに困っている人がいるが。

〔町長〕 補助事業などの情報は、町内の窓口で回答ができる体制である。

手続きは、県が設置するセンターを活用することをすすめている。

〔西本〕 県設置のセンターのみでは、足りてないと住民の声があるが。

〔町長〕 国の給付金は国で対応して貰わないと、町ではできない。

〔西本〕 コロナ対策の支援は緊急制がある。

国だ県だと言わずに町独自で行うべきでは。

〔町長〕 できないことは民間の土業を利用していただくのが原則だ。

〔西本〕 土業利用の支援があるのか。

〔町長〕 令和2年度、雇用調整助成金の申請を

対象として助成した。

〔西本〕 基幹産業の農林水産業でも使用できずに困っている人がいる。

〔町長〕 現状把握のうえ検討していく。



申請手続きに困る高齢者



大森 正治 議員

ごみ処理基本構想案を問う

町長

基本方針に沿って進める

〔大森〕西部広域行政のごみ処理基本構想案は、廃プラスチックを焼却し発電する熱回収を重視している。

これは菅政権が掲げた2050年までにCO₂排出ゼロの方針に反する。

また先の国会で、プラスチックを焼却する熱回収は減らし、リサイクル量を増やす「プラスチック資源循環促進法」が成立した。ごみ発電を見直すよう広域行政管理組合の会議で進言しないか。

〔町長〕ごみ減量化と循環型社会・脱炭素社会形成を推進する基本方針に沿って進めるべきである。発言の必要があれば指摘したい。

〔大森〕プラスチックごみは分別してリサイクルするよう方針転換するのか。

〔町長〕法律の趣旨に沿った対応をする。

町議選の投票率を上げるために

管 長
選 委員

良い事例を 研究する



町議選は多数激戦だったが

〔大森〕投票率低下は民主主義の根本問題だ。先の町議選は、多数激戦であったにもかかわらず投票率は過去最低の68・8%、前回比で6・97%もの急落だった。

投票率下落の要因は何だと考えるか。

〔選管委員長〕大きな要因は町長選挙が無投票となり、町議選だけになったこと。政治への無関心や高齢化の影響も考えられる。

〔大森〕投票率アップのための対策は。

〔選管委員長〕広報啓発活動をしているが、良い事例があれば研究し導入を検討する。

補聴器の購入に助成を

町長

支援を検討する

〔大森〕町内の加齢性難聴者の実態把握は。

〔町長〕把握してない。

〔大森〕集団健診の項目に聴力検査も入れて把握したらどうか。

〔町長〕決まった健診項目がある。受託業者もいるので、相談してみたい。

〔大森〕聴力の機能低下を補う補聴器は高価である。高齢者支援として補聴器購入に助成をしないか。

〔町長〕何らかの支援ができないか、引き続き検討する。



種類は多いが高価な補聴器

このほか、コロナ対策についても質問しました。



岡田 聡 議員

デマンドバスの見直しを

抜本の見直しに向け 調整したい

町長

〔岡田〕使いにくいデマンドバスの抜本の見直しはぜひ実行すべきである。

また、免許返納者への助成は、シニアカーに加え3輪電動アシスト自転車も加えれば、行動範囲が広がり、健康維持にも有効だと考えるが。



安全・便利な3輪電動アシスト自転車

てみたい。

〔岡田〕環境改善の取り組みが、他の自治体に対し弱いのでは。

〔町長〕ゼロカーボンの取り組みや、SDGsの取り組みは、今後の事業展開に取り入れていきたい。

〔岡田〕部落差別をはじめあらゆる差別の解消の取り組みは。

〔町長〕さまざま形で学習の機会を設け啓発に取り組んできた。さらにあらゆる差別の解消に向けて啓発を進めていきたい。

認知症予防に

知的活動プログラムを

町長

どんな活用ができるか 検討したい

〔岡田〕国民の3人に1人が65歳以上という超高齢化社会で誰もがなりうる病気と言われているのが認知症だ。予防など共生社会実現の取り組み強化はできないか。

〔岡田〕運動習慣だけでなく、知的活動やコミュニケーションが認知症予防に有効と言われている。プログラム導入をしないか。

〔町長〕認知症になられた人も安心して暮らせるような地域をめざしていきたい。

〔町長〕65歳以上の高齢者の4人に1人は認知症または予備軍と言われている。本町では、778人と算定出来8人に1人の割合になる。認知症に対する正しい知識を持つていただくための啓発を進めている。また、適度な運動やバランスの良い食事を推進する団体に支援している。



みんなで取り組もう！認知症予防



池田 幸恵 議員

梨選果場の運営経費を 支援しないか

運営状態を確認し 検討したい

町長



降ひょうで傷を負った梨

【池田】5月の降ひょうで本町の基幹産業の梨が甚大な被害を受けた。

傷が大きく出荷ラインに乗れない梨を、ふるさと納税返礼品や学校給食などに活用されないか。

【町長】ふるさと納税訳あり返礼品として20世紀梨、品種おまかせ梨の2種類をつくり、受け付けている。

学校給食については、梨選果場や教育委員会と協議し、食材の調達・調理が可能となれば活用したい。

【池田】選果場の運営経費は生産者の利用料で賄われており、この度の被害での生産者負担は大きい。

農家負担の軽減策として運営経費を支援しないか。

【町長】秋にならないと農家被害の状況がわからない。

運営状態を確認し、必要であれば支援策を検討していきたい。

県の緊急防除支援事業について一部負担を行うことで、負担軽減に努めたい。

イメージを下げない 町づくりは

必要な改善に取り組む考えだ

町長



野口 俊明 議員



改善が待たれるトイレの一つ

【野口】町政を担う上で、イメージを下げない（落とさない）町づくりの考えは。

【町長】町民みんなが安心して暮らせる町をつかっていくために現状維持ではなく、必要な改善に取り組む考えです。

【野口】町民から「トイレが汚い、トイレトップペーパーがない、水が出ない、案内板がわからない、芝の管理が悪くなった、対応が下手」との声があるが。

【町長】具体的な箇所を確認の上、対応を検討したいと考えている。



島田 一恵 議員

働き世代の体力向上は

町長 前向きに進めていく

【島田】働き世代の体力向上について、名和農業者トレーニングセンターを活用し、町営のジムを開設できないか。

【町長】本町では民間フィットネスクラブと協力しているので、町営ではハードルが高い。

【島田】さまざまな世帯のニーズに合わせるためにも、民間だけでなく町営でも健康増進が必要では。

【町長】民間会社とのすみ分けが必要だが、事業者と連携することで色々な可能性を探りながら取り組みたい。



気軽に使えるジム

質疑

心配な人は、かかりつけの医師や、県や看護協会が開設しているコールセンターに相談してほしい。

【健康対策課長】町内では今のところ、副反応が発生したとの具体的な事例は聞いていない。

【福祉介護課長】児童扶養手当の受給者、児童手当を受給する住民税非課税世帯は、申請なしで支給する。

【企画課長】キャッシュレス化のためのカードリーダーなどの導入費用や、デジタル化した際の広告宣伝費用などが対象である。

【池田議員】子育て世帯生活支援特別給付金で、申請が必要なら、申請がわがかり次第で追加される。

ワクチン接種

子育て支援

デジタル化

【吉原議員】ワクチン接種事業で、副反応を心配して接種をためらっている町民もいるが。

【近藤議員】飲食店のデジタル化支援の内容は、どのようなものが対象になるか。

また、宿泊・飲食業以外の業種への支援は。

【島田】働き世代の体力向上について、名和農業者トレーニングセンターを活用し、町営のジムを開設できないか。

【町長】本町では民間フィットネスクラブと協力しているので、町営ではハードルが高い。

【島田】さまざまな世帯のニーズに合わせるためにも、民間だけでなく町営でも健康増進が必要では。

【町長】民間会社とのすみ分けが必要だが、事業者と連携することで色々な可能性を探りながら取り組みたい。

5月臨時会

コロナ対策で事業者支援

5月20日の臨時会で、一般会計補正予算を審議し可決しました。

新型コロナウイルス対策に関連する予算が追加されました。

算が主なもので、ワクチン接種の体制整備や、飲食店などへのサポート補助金、低所得の子育て世帯に対する特別給付金の予算が追加されました。



テイクアウトの支援も開始

員での討論会!!

全議員で「ひらかれた議会とは」というメインテーマのもと、熱い討論を繰り広げました。



杉谷 議員

日頃から住民の活動に積極的に参加して、住民の生の意見、要望を直接聞いていく。10地区の議員と語る会も、待つのではなく議員自ら出向き意見を集める。より開かれた攻めの議会をめざしていく。



森本 議員

自分も地域自主組織から山での活動をしているが、自分の活動がまだまだの現状である。

コロナ禍においては新しい生活様式のもと、日々新しい常識が飛び込んできている。積極的な議会改革に向かわなければならないと思っている。



門脇 議員

町民から議会へ要望などを伝える機会を考えると、議会への陳情、議員と語る会への参加などがあるが、まだまだ十分とはいえず、住民の声を議会が聞いていないと思われるのも仕方がない。もっと機会を増やしていかなければならない。



吉原 議員

執行部の監視だけではなく、町民の要望や声を聴き、修正案や政策を提案していく議会が必要である。町民の意見を聴く仕組みづくりが重要。各種団体への意見交換をしていくことで住民目線の議会をめざしていく。



池田 議員

行政区域の範囲が以前は狭く、情報を得やすかったが、行政区も広くなり、顔と顔を合わせる機会が少なくなった。いろいろな現場へ出向いていって声を拾っていくことが重要である。



大森 議員

住民に開かれた議会は、議会で起こっていることや行政の状況などの情報提供が重要である。その中でも議会だよりは有効なツール。審議結果の公表が非常に良かった。



西本 議員

議員は何をやっているかわからないのが現状だ。この討論会に住民がいないのはナンセンスだと思う。議会だよりは素晴らしいが情報交換の手段が変わってきている。SNSなどの取り組みもあるが不備がまだ多い。

テーマ1

より住民目線の 議会のために



小谷 議員

既にいろんな情報が公開はされているが、町民がその情報をキャッチしないのはなぜか。それはつまらないから。町民が自ら調べたいと思うように、おもしろくするのがポイントだ。



大杖 議員

議員はがんばっている。ただやり方が適当でなかったのかもしれない。

町長と議員だけではなく町民が参加して政策を考えていかなければいけない。

交流会、意見交換会を数多く開くことが重要だ。



近藤 議員

議員がもっと町民のもとに出かけていくことを考えていかなければいけない。

区長会などに出向く、オンラインで意見を伺うというのもあっていいと思う。

政策サポーターとして、町民に参画してもらおうという取り組みもいいと思う。



豊 議員

議員に意見を言う人は現在限られている。あまり声をあげない人、特に子どもや、活発に地域行事に参加されない人の声を拾う意識が重要だ。楽しそう、面白そうと思ってもらえる、親しみやすい議会の雰囲気づくりをしていきたい。



大原 議員

多数の意見を吸い上げるのはもちろん、採決にあたり少数派の意見もしっかりと聞くことが重要だ。なかなか出会えない人、話す機会のない人に常にアンテナをたて普段活動しなければいけない。



島田 議員

まちづくりに長年かかわっている。本町には10カ所の地域自主組織があり、そこに参加することで現場の声をしっかり聞くことができる。高齢者と子どもたちが一緒に問題解決にあたることで、つながりが生まれてくるのが重要では。



岡田 議員

町民に信頼される議会にしていくことが重要だ。情報公開、住民参加、議会機能の強化の3つを軸にしていかなければならない。執行部が提案する案に反対する際には、代案を用意することが町民の信頼につながる。



野口 議員

大山町議会は、開かれた議会ではないということではなく、議員は一般質問など町民の声を聴いて質問している。町民の声を聴いて活動しているので、多様な意見が出ている。半径100mの意見を聞いているところを200mにしていきたい。



テーマ2

町民とともに歩む
議会のために

全議



杉谷 議員

江府町の議会は定員割れし、ある議員はいろんなことをやって頑張ってきたが、町民に議会の中が見えてこないことが残念だと話していた。耳の痛くなる意見があるが、それが頭にくるようでは議員失格で、しっかりと声を聴いていきたい。



森本 議員

住民とのギャップが、どこで生まれているのかという視点も重要。他の議員が言われるように議員自体も努力している。事業を評価していくような事務事業評価や、タブレットも議会に導入されている。人と人の対話が重要だ。



吉原 議員

議会傍聴者向けに詳しい資料を用意したほうがいい。議会の開催時間も夜間や週末など、町民が参加しやすい時間帯があるとよい。議員と語る会も、テレビや議場を使っていくのもよい。



門脇 議員

1つは議会モニター制度を導入し、議会傍聴後にレポートを書いてもらう有償のモニターがいい。また、議員と意見を交わす場をネット上に作るのいいのではないかな。



池田 議員

今日は素晴らしい意見がたくさん出たので、チーム大山として進めていければいい議会になると思う。大山町議会のテーマとして続けていくことこそ重要だと考える。



小谷 議員

町民に議会だよりを読んだ感想を聞く、議会だよりモニター制度を検討してはどうか。議会だよりの内容の向上をはかるだけでなく、町政について幅広い意見を聴く機会にしたい。



西本 議員

今出てきている討論の内容を、具体化するだけで議会は良くなると思う。議員は思っている以上に活動している。それが町民に伝わってないのが残念だ。議員としての活動以外のことで、親しみを持ってもらうことも大切である。



近藤 議員

議会モニターに賛同の議員が多かったので、ぜひ実現させていきたい。役場3階の議員控え室も眺望が良いので、町民とそこで懇談していくのも良いと思う。



島田 議員

議会だよりをどれくらい読んでるかアンケートなどを実施して、協力してくれた人には議員控え室でお茶を飲む券を渡すなども良いと思う。女性議員と語る会をやりたい。



大森 議員

コロナ禍で議員と語る会ができてなかったが、オンラインなどで再開していきたい。議会だよりは町民が掲載される部分を増やし、町勢をクイズにするのも面白い。



豊 議員

人と人とのコミュニケーションが時代とともに変わってきている。ぜひ今、このテレビをご覧いただいている人はSNSで議員とつながっていただきたい。新しい議会と町民との関係性を築いていければと思う。



大原 議員

一つの議案に対して3つや4つの意見が出る。その中で結果は一つだけだ。少数の意見を多数の人達が受け入れる余裕が必要。価値観を協議する上で、世代間の違いもさまざまなテーマごとに議論していきたい。



大杖 議員

町民の声を一つでも多く政策に反映させることこそ重要だ。町民と歩む議会になるにはこれからの4年間、身近に数多くの懇談会、交流会を開いていきたい。



岡田 議員

町民の声を提言にまとめることをすべきだと思う。議員と語る会も参加人数が少ないのが悩みだが、議員から出向いていくことが重要である。もっと多くの町民と語る機会を作っていきたい。



野口 議員

議員と語る会は、興味があっても参加しなかった人もいると思うが、参加する人が限られて、特定の人の意見ばかりになってしまうことは改革したい。

テーマ3

町民との距離を
縮めるためには

杉谷 議員

議員と語る会など一人でもきてもらえれば大成功と言う立場に立てば、その輪が広がっていく。

西本 議員

人が集まらないという話がでたが、参加人数が少なければ、議員自ら声をかけて参加してもらおうべき。

森本 議員

コロナ禍なので、より建設的な議論が必要。議場を活用したテレビ会議など、そういった新しいことをするいいきっかけになるのでは。

まとめ



コロナ禍で休止している議員と語る会の開催やさらなる改革が必要ではないか。6月定例会後、具体的に日程を組んで動いていく。町民のもとに出向き、汗をかくことが重要だ。(米本議長)

特集 町内の輝く女性に聴く

毎年6月23日から29日の1週間は、男女共同参画週間です。そこで町内で活躍される女性の皆さんにスポットを当ててお話を伺いました。

皆さんの活動での困りごとはありませんか

◎大山婦人会

会長 遠藤幸子さん

町の施設利用は女性が多い。しかし老朽化や利用制限などで、各種団体が活躍できる場所が減ってきています。

◎美野梨つくしグループ

代表 野間京子さん

梨生産者なので、出荷口を活用し6次産業をしています。

◎押平女性会

副会長 吉原美智恵さん

各団体たくさんさんの要望があります。女性団体として要望を集約し、声を上げることも大切です。

◎大山女性の会

会長 桑原可菜子さん

SDGsに掲げられるように、女性の潜在能力を生かすことは大切です。活動に対してのバックアップ不足を感じます。

◎なかやま女性会議

会長 松信多榮子さん

集落の寄り合いも家庭内の会話がなければ情報の共有不足を感じます。女性が区長になれない集落もあります。

皆さんが今思うことをお聞かせください

◎大山婦人会

会計 浅田妙子さん

女性の意見を聴いてくれる男性もいます。どうせダメだと引き下がるのは女性のいけない所だと思います。男性も応援してくれるようになっていたので、女性も意見を言いやすくなりました。

◎御来屋地区婦人会

榎野せつ子さん

日中に会を開催するとなれば、働いている人は参加できません。会議や各種イベントはだれもが参加しやすい時間帯での開催が良いと思う。

◎なかやま女性会議

会員 尾古満子さん

夫婦間も対等であるべき。主人と呼ぶのではなくお互いの名前で呼び合っています。主張すべき時は、気持ち十分伝えるべきです。

◎食生活改善推進名和支部

中上寛子さん

以前に比べると、女性に対する意識が徐々に変わってきています。声を上げることで、集落の課題も変わることもあります。



利活用を進めたい町内の農産物加工施設

日本女性会議について 教えてください

◎大山婦人会

会長 遠藤幸子さん

女性が抱えるさまざまな課題に対し、男女共同参画の視点で解決することを目的とした国内最大の会議で、全国から約2000人が集まります。

最近では、男性の参加者が増えてきました。

◎大山女性の会

会長 桑原可菜子さん

分科会もあり、さまざま

日本女性会議が 倉吉で開かれます

JAPAN WOMEN'S CONFERENCE 2022 IN TOTTORI KURAYOSHI

日本女性会議 2022 in 鳥取くらし

Smile in kurayoshi
～だれもが共に
笑顔になれる夢ある未来～

倉吉大会の
目的・方針

一人ひとりが幸せな社会を築く上での課題
少子高齢化や性別による固定的役割分担意識とその意識に伴う長時間労働、結婚、出産、育児を機とした離職や雇用の不安定な働き方などの解決

倉吉大会で大切にすること

- 受け継いでいく男女共同参画推進の取組み
 - ①性別、年代に関わりなく誰もが参加したくなる大会（ともに築く持続可能な推進体制）
 - ②地域の課題、特徴等を再確認する分科会とし、男女共同参画の視点を取り入れたまちづくりにつながる大会（お互いを認め合う男女共同参画社会の形成）
 - ③地域の女性リーダーの育成につながる大会（多様な個性を活かす女性の活躍の推進）
- 「くらしよ」倉吉の魅力発信！
 - ①市民が大会を通して倉吉の良さ「くらしよくらしよ」を再認識し、まちの魅力を参加者に押し出せる大会（交流（市民・関係者）で伝える倉吉の魅力）
 - ②鳥取・倉吉の魅力発信（人・風土・食・文化・交流）

大会概要

- 全体会：約2,000人
- 分科会：会議中
- スケジュール
 - 1日目：開会式・全体会・閉会式
 - 2日目：分科会・交流会
 - 3日目：エクスカーション
- 場所（主会場）：倉吉共栄中心

日本女性会議とは…
1979（昭和54）年の「国連婦人年」とそれに続く「国連婦人の10年」を記念して1984（昭和59）年から開催され、地域が抱えるさまざまな課題に対し、男女共同参画の視点で解決することを目的とした国内最大の会議、倉吉大会で39回目となる。

くらしよ・鳥取の魅力発信！

男性にも参加してほしい

な形態の男女差などの解消について学べる場です。女性ばかりが学ぶのではなく、男性も同じ目線での学びが必要だと思えます。

◎なかやま女性会議

会長 松信多榮子さん

毎年、本町の女性団体に所属する会から数名が参加しています。

昨年は、コロナ禍ということもありオンライン開催でした。今まで参加できなかった人も参加できて良かったです。

女性団体の全体会で、学

んだことを発表し情報を共有しています。

◎中山老人クラブ女性会

会長 森本怜子さん

近年の開催地は遠くて参加者も少なかったが、令和4年は倉吉で開催されます。今まで一度も、男性の町

会議員さんの参加はないです。ぜひとも参加してほしいです。大山町もバスを出すなど応援してほしいです。

意見交換会を終えて

男女共同参画週間期間中の6月29日に大山公民館にて、さまざまな分野で活躍されている皆さんの声を聴かせていただきました。

活動をされてきた中で、不自由に思うこと、疑問に思うことを声にしてきた結果、変わらなかつた「不公平」が、変わり始めてきたのではないかと感じました。

町内には、まだまだたくさんさんの女性団体やグループがあります。同じじやないかと思えます。

令和4年10月に倉吉市で開催される、全国大会に本町から多くの人が、参加しやすい環境になるように応援していきます。

（池田）



活発な意見がかわされた

みなさんからの陳情はこうなりました

6月定例会で審査した陳情の結果を報告します。

題名	提出者	付託した委員会の意見・結果	本会議採決結果
保育士の全面パート化につながる短時間勤務保育士の活用促進ではなく、保育所職員の配置基準改善、処遇向上のための必要な措置を求める意見書の提出を求める陳情書	鳥取の保育を考える会 代表 石井 由加利	(教育民生常任委員会) 働き手のニーズの多様化を考慮する必要があり、短時間勤務保育士の活用促進は有効と考えられる。 採決の結果、採択1、不採択4で不採択と決した。	不採択
ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2022年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	鳥取県高等学校教職員組合西部支部 支部長 田中 繁 鳥取県教職員組合西部支部支部長 内田 浩文	(教育民生常任委員会) さらなる少人数学級への検討、学校の働き方改革を国へ働きかけることは本町にとって意義のあるものとする。 採決の結果、全会一致で採択と決した。	採択
地方財政の充実・強化を求める陳情	自治労鳥取県本部 執行委員長 山口 一樹 大山町職員労働組合 執行委員長 中井 晶義	(総務常任委員会) 地方公共団体には新たに多くの行政需要が発生しているが、コロナ禍により巨額の財政出動が行われているなか、2022年度以降の地方財源の確保に大きな不安が残されている。 採決の結果、採択3、不採択1で採択と決した。	採択
町議会議員岡田聰に対する辞職勧告の陳情書	坂田 丈夫	(総務常任委員会) 陳情者の主張している事件はいずれも当事者間の問題であり、議会は事実を認定する機関ではない。 採決の結果、全会一致で不採択と決した。	不採択
新型コロナウイルス感染拡大による影響事業者支援の要望	大山町商工会 会長 山根 均	(総務常任委員会) 新型コロナウイルス感染拡大が経済活動を阻害しており、さらなる支援が必要である。 採決の結果、全会一致で採択と決した。	採択
新型コロナウイルスによる経済被害の対策要望	鳥取県漁業協同組合 御来屋支所 運営委員長 敦賀 亀義	(経済建設常任委員会) コロナ禍において魚価が低迷し、所得が大幅に減少している実態などを確認した。 採決の結果、全会一致で採択と決した。	採択

国へ提出する意見書

意見書名	意見書の内容(要旨)	提出先
少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書	1. 中学校・高等学校での35人学級を早急に実施すること。 2. 学校の働き方改革・長時間労働は正を実現するため、加配の増員など教職員定数改善を推進すること。	衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣、ほか
地方財政の充実・強化を求める意見書	1. 増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、これに見合う地方一般財源総額の確保をはかること。 2. 新型コロナウイルス対策として、ワクチン接種体制の構築、保健所体制・機能の強化などに十分な財源措置をはかること。 (このほか9項目)	衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣、ほか

議会からのお知らせ

タブレット導入しました



議会のICT化

6月議会は、初のタブレットを使用しての議会でした。

タブレット導入により、情報のやりとりが圧倒的に早くなりました。

日常業務や災害時の連絡、その他議会活動の効率化をしていくことで、議会を活性化し、時間・経費・紙の削減もはかっています。

議員の研修参加の報告

・議員派遣をした研修

鳥取県町村議会議長会主催の新議員研修会

目的：議会に関する知識の習得

派遣場所：湯梨浜町「国民宿舎 水明荘」

期間：令和3年5月31日（月）

派遣議員：小谷議員、西本議員、豊議員、島田議員

・議員派遣予定の研修

鳥取県町村議会議長会主催の広報研修会

目的：議会広報の編集知識習得のため

派遣場所：湯梨浜町

期間：令和3年8月5日（木）

派遣議員：小谷議員、西本議員、豊議員

西部町村議会議長会主催の議員研修会

目的：政治知識の向上と議会活動の活性化に資するため

派遣場所：米子市淀江町

期間：令和3年8月24日（火）

派遣議員：全議員



声

みんなのひろば



鎌田 真希 (安原)

子育て世代で
思うこと

生まれも育ちも大山町、夫と3人子ども達と暮らしています。自分が子育て世代となった今、大山町について思うことは、「ありがたい」です。

例えば、保育料無償化、給食費の補助（今回全額補助は修正案が通り）

しかしながら是非前向きな議論を、子育ての為にパートへの変更を余儀なくされた私にとって本当にありがたいことでした。

そんな財源どこにあるのかと驚きますが、理想を現実に行ける大山町すばらしい！町外に住む同僚から「大山町すごいね！いいなあ」と言われる度に誇らしい気持ちになります。

若者には物足りない町ではあると思います。町外へ出ていろいろな経験をするべきだと思います。その若者が家庭を持つ時、大山町に帰ろうと思えるまちづくりを続けていただきたいと思っています。



小谷 章公 (下甲)

転ばぬ先の杖
安全対応は大丈夫か

過日、千葉県八街市で児童5名が死傷した痛ましい事故が起きた。飲酒運転による事故ではあるが、現場の道路は交通量が多いにもかかわらず、歩道の無い通学路である。早期に歩道設置の要望が出されていた様であるが、実現されないなかでの事

故となった。私は、山中中学校校門前で、更生保護女性会の方々と、月初めの登校生へのあいさつ声かけ活動に参加している。校門前の歩道は小学生の通学路でもあり、かなりの児童生徒が通る。この歩道を、中学生の送迎を

する多くの保護者の車が横切っているとは思いますが、校門の出入口に「止まれ」の標記があれば、より一層、歩道への安全も確保されると思う。

現状、町内3箇所の中学校、4箇所の小学校の出入口には「止まれ」等の標記はない。ちなみに町内の3箇所の保育園の出入口には「止まれ」の標記がある。校門出入口に「止まれ」「一旦停止」の標記をしておうか。

教育・福祉・産業などの充実をはかりながら、誰もが楽しく暮らせる町となるよう、色々な場面で議論をしなければならぬ。



佐々木 正志 (門前)

大山は楽しいが
生まれる場所

鳥取大山町に移住し、早いもので6年目に突入しました。周りの友人や、愉快な方々のおかげで、今もめちゃくちゃ楽しく過ごしています。もともと大山町地域起し協力隊観光部門として東京から大山にやってきましたが、任期3年の協力隊は

一年で辞めることになりました。理由は、行政が観光における協力隊に求める方向性と、自分が目指したい方向性が重ならなくなったからです。

そんな中でも辞めることに対する不安は全くありませんでした。なぜなら、自分であれ暮らしてや形にしたい仕事は、「行政」と向き合うことではなく、「暮らし」(暮らしすび)と向き合うことでしか生まれないと思っていたからです。

現在は、一緒に小さいチャレンジを楽しめる仲間が増え、大山ならではの自分ならではの仕事を少しずつ作れるようになってきました。大山は楽しいが生まれる場所。これから言葉はもちろん形にもしながら伝えていきたいと思っています。

【発行責任者】 米本 隆記
【広報常任委員会】
委員長 池田 幸恵
副委員長 西本 憲人
委員 大原 広巳
委員 近藤 大介
委員 森本 貴之
委員 島田 一恵
委員 豊 哲也
委員 小谷 英介

議会だよりのご感想をお寄せください！

発行/大山町議会 編集/広報常任委員会
〒689-3211 鳥取県西白郡大山町御来屋328
☎ 0859-54-5213 FAX 0859-54-5214



御来屋漁港のアート

あしがき

6月定例会で、小中学校の給食費無償化案に減額修正の動議が提出され、可決された。

町長の移住定住対策に待ったがかかったのだ。しかし、これで立ち止まっては行れない。

少子化対策の切り口は多方面におよぶ。給食費以外にも保育料・在宅育児・婚活・仕事の確保など数えきれない。

教育・福祉・産業などの充実をはかりながら、誰もが楽しく暮らせる町となるよう、色々な場面で議論をしなければならぬ。

本町議会もタブレット端末の活用を始めた。町民の声をどれだけ聴けるか、今夏試される。

大原